
叫

クルーガー

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

叫

【Nコード】

N7015E

【作者名】

クルーガー

【あらすじ】

こんなに好きなのに。好きすぎるの…

届け、この想い。

キスしてはぐらかす君はいつも私の目を見ようとしない。

静かなため息。

妖しく光る唇。

どうして私は君を好きなんだろうか。

こんな自問自答を100回している馬鹿な自分。

君のためなら死ねるのに。

むしろその手で私を殺して欲しい。

それが本望なのだから。

セックスの後の冷たさに自分を抱きしめる。

身体が彼を欲しがる。

心が彼を欲しがる。

なんでなの？

こんな自問自答を何回も繰り返す愚かな自分。

友達は愛想をつかす。

しょうがないよ、彼しか見えない。

好きすぎるの。

好きすぎて涙が出る。

ひんやりと部屋を閉ざす午後。

私は馬鹿みたいに泣いて彼を欲している。

外は太陽がキラキラと葉の間から私を攻撃する。

あなたの一部になりたい。

そしたら私は幸せなの。

あなたを感じたい。

膝を抱えてあのドアが開くのを待っている愚かな自分。

好き。

一生言い続けても私の想いは伝わらないだろう。

私が生きている限り続くこの痛み。

嗚呼なんて苦しいんだろう。

近くにいるのにこんなに遠く感じるなんて。

子供みたいに泣きじゃくる。

舌を出して私を吸って。

私をあなたの一部にして。

キスをして。

舌を絡めて。

私を吸い尽くして。

そしたら私は自由になれる気がする。

さあ、私の首にあなたの指を這わせて力を入れて。

私はイける。

まさに天国。

未来を語る若者が私に唾を吐く。

私は、いない。

私は…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7015e/>

叫

2011年1月20日14時33分発行